

夢とロマンに賭ける男たちの
 壮大、波乱のアドベンチャー!



The Man Who Would Be King

王になろうとした男

ショーン・コネリー
 マイケル・ケイン
 クリストファー・ブラマー
 監督 ジョン・ヒューストン

製作 ジョン・フォアマン/撮影 オスワルド・モリス/音楽 モーリス・ジャール

■カラー作品
 パナビジョン

コロムビア映画



一言でいえば■

「ジャングル・ブック」の著者で有名な、ラ
 ティヤード・キプリング（1907年度ノー
 ベル文学賞を受賞）の冒険小説の映画化で、
 まさしく男の夢を賭けた冒険児の一大冒険物
 語!

物語は■

ふたりの青年が、アフガニスタンの彼方、2
 000年以上もの間、白人が足を踏み入れた
 ことのないという神秘の国カピリスタンを目
 指し、そのありあまる富を掌中に、そして王
 として君臨しようとする——いわば国盗り物
 語。

見どころ・例えば大スペクタクル■

大自然と闘う男たち。ある時は、炎熱の大荒
 野を。絶壁の峰から峰へ。そして激流に
 呑みこまれ、必死の脱出。背後からの大雪
 崩、前面に突然起る大雪原のキ裂。引くに
 引かれず、進むに進めず、絶対絶命!

見どころ・例えば富と女性と神秘の国■

アレキサンダー大王遠征以来、白人が足を踏
 み入れたことのない神秘の国。そして、おと
 なのにぎりこぶし大の巨大なルビーなど信じ
 られない莫大な富。美しいエキゾチックな女
 性たち……。そんな国が実在するのなら、君は
 そしてあなたは?

見どころ・王になろうとした男の戦い■

そのテツカイ夢を求めて「彼」と親友は、軍
 隊を育てあげ、激烈な戦争を開始する。王に
 なるための……。しかし「美しい口グザンヌ」
 から受けた頬の傷から流れる一筋の血が、「彼」
 の夢を砕く引きがねの役を果たした――。

国電有楽町駅下車・朝日新聞社うら

6月12日(土)よりロードショー

丸の内ピカデリー (201) 2881

特別鑑賞券 ¥900 (一般 ¥1,200 大学 ¥1,100 高校 ¥1,000) の処
 劇場窓口にて発売中!